

令和3年度千葉県高齢者保健福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に關す る評価
1	1-1-①	生涯大学の運営	高齢者福祉課	生涯大学校を県内5学園で運営し、高齢者の生きがいづくりとともに地域活動の担い手となる人材の育成を進める。 また、各学園に配置したコーディネーターが各種団体とのマッチングや情報提供により、卒業生が地域活動に参加できるよう支援する。	入学者の定員充足率	—	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休校となった。	—	—
2	1-1-①	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発	県民生活課	ボランティア活動の基礎知識等を掲載したリーフレットや普及啓発用物品を作成し、配布する。	リーフレット配付数	5,000枚	賛同行事へのリーフレット等の提供：13件	8,540枚	A
3	1-1-②	千葉県ジョブサポートセンターの運営	雇用労働課	「千葉県ジョブサポートセンター」において就労相談、就職支援セミナー等を実施し、再就職の促進及び就職後の定着に係る支援をする。	セミナー及び交流イベントの開催件数	40	就職者 613人 生活就労相談 5,630人 セミナー等利用者 1,753人	58	A
4	1-1-②	いきいき帰農者研修の実施	担い手支援課	定年退職者等が地域農業の担い手として活躍できるよう、生産技術や経営に関する研修会を開催する。	研修会開催日数	34日	6地域で実施し、101人が参加	32日	B
再	1-1-②	期待しています！シニア人材事業（再掲）	健康福祉指導課	50歳以上の方を対象として、介護職員初任者研修の実施、職場体験の実施、介護事業所とのマッチング支援等を行うことにより、シニア世代の就職支援を実施する。	研修会参加者数	30	県内5か所で研修を実施した。	45	A
5	1-2-①	医薬品等の適切な使用の推進	薬務課	医薬品適正使用推進員による講習会や、パンフレット、ポスター等の啓発を行う。	講習会の回数	40回	県内の高齢者等を対象に医薬品の適正使用に係る講習会を17回、476名に対して講習会を行った。	17回	D
6	1-2-①	生活習慣病予防支援人材の育成	健康づくり支援課	生活習慣病予防対策として重要な特定健診・特定保健指導に従事する人材を育成するため研修会を開催する。	研修会参加者数	200	・初任者研修1日 延88人 ・経験者研修3日 延102人 ・運営責任者研修1日 延37人 ・リーダー専門職研修1日 延38人	4コース6日間 延 265人	A

令和3年度千葉県高齢者保健婦福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に関する 評価
7	Ⅰ-2-②	自立支援、介護予防及び重度化防止に関する市町村への支援	高齢者福祉課	市町村が行う自立支援、介護予防及び重度化防止の取組を支援するため、先進的な事例を集積し、情報提供や研修会を開催し、人材育成を行う。 特に住民主体の通いの場等への市町村支援については、定期的に市町村の現状を把握するとともに、立ち上げから継続支援までの実態等を評価し、市町村支援のあり方を検討しながら、担当者を対象に研修会を実施する。 また、介護予防市町村支援検討会議を開催し、介護予防事業の評価・推進を図る。	研修会参加者数	200	・介護予防市町村支援検討会議 ・介護予防事業従事者研修会（オーラルフレイル予防）実施 ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査分析支援事業に係る研修会 ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の活用に係る市町村研修会	204	A
8	Ⅰ-2-②	福祉ふれあいプラザ（介護予防トレーニングセンター）の運営	高齢者福祉課	体力の低下した高齢者も安全に、安心して介護予防のための運動ができるよう、使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、県民一人ひとりに合った運動プログラムによる介護予防トレーニング等を実施する。 また、その取組効果を市町村へ情報提供し、県内の介護予防事業の推進に貢献している。	トレーニングセンター年間利用者数	27,000	新型コロナウイルスの影響により、一部の運動機器等の使用を中止している。 特に65歳以上の利用が多い時間帯はスタッフを増員しており、安全面に配慮した。また、運動面だけでなく栄養面、体調面等の利用者の生活習慣全般に対しても助言を行った。 さらに市町村職員等を対象にZoomを取り入れた研修を5回シリーズで実施した。	26,511	B
9	Ⅱ-1-①	地域福祉フォーラムの設置支援	健康福祉指導課	市町村の区域及び小・中学校の区域ごとに、様々な分野の人々が集い、地域づくりのあり方や取組を考える場である「地域福祉フォーラム」の設置を促進する。 また、地域福祉フォーラムの活動の活性化に向けた啓発・情報提供等を行う。	助成件数	20件	県内の地域福祉フォーラム新規設置3団体及び、既存のフォーラム12団体に対して補助を行った。	12	C
10	Ⅱ-1-①	コミュニティソーシャルワーカーの育成	健康福祉指導課	コミュニティソーシャルワークの知識・技術の普及のため、以下の研修を実施する。 ・地域福祉活動を担う人への「基礎研修」 ・社会福祉等に係る個別支援又は相談支援を担う人への「専門研修」 ・専門研修修了者への「フォローアップ研修」	研修会参加者数	200	基礎研修を5回、専門研修を5日、フォローアップ研修を1回行った	254	A
11	Ⅱ-1-②	生活支援コーディネーターの養成	高齢者福祉課	市町村が地域支援事業の中で取り組む生活支援体制整備において、生活支援サービスの充実・強化や担い手の育成等を行う生活支援コーディネーターを養成する。	研修会参加者数	80	研修の実施	84	A

令和3年度千葉県高齢者保健婦福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に 関する評価
12	Ⅱ-1-②	生活支援コーディネーターのフォローアップの実施	高齢者福祉課	生活支援コーディネーターの日頃の活動に資するためのフォローアップ研修や情報交換会を実施する。	研修会参加者数	150	研修及び情報交換会を実施	75	D
13	Ⅱ-1-③	ボランティアの振興	健康福祉指導課	ボランティア等の民間福祉活動の育成発展を図るため、ボランティアの集いの開催、リーダー研修、コーディネーター研修等の各種研修、セミナー等による人材育成や、ボランティアをしたい人と援助を必要としている人とをつなぐための様々な情報の収集・提供を行っている千葉県ボランティア・市民活動センターの活動を支援する。	社会福祉協議会登録ボランティア数	対前年比増加	ボランティア等の育成発展のため、各種研修等による人材育成や千葉県ボランティア・市民活動センターの活動支援を行った。	80,850	B
14	Ⅱ-1-③	福祉教育の推進	健康福祉指導課 教育庁学習指導課	児童・生徒の福祉に係わる意識の醸成及び活動の普及・促進を図るため、福祉教育への熱心な取組を進める学校を福祉教育推進校として指定し、その活動を支援する。また、同じ地区の小・中・高校・地域団体をパッケージ方式で「福祉教育推進校・推進団体」への指定により、子供の発達段階に応じた福祉教育と、地域と連携した福祉教育を推進している。	小・中・高校の推進校としての新規の福祉教育指定校	20校程度	23校の福祉教育推進校を指定し、福祉教育の推進を図った。	23校	A
15	Ⅱ-1-④	地域の防犯力アップの促進	くらし安全推進課	地域の犯罪抑止に大きな役割を担っている県民の自主防犯活動を促進するため、市町村が自主防犯団体等への支援として実施する、自主防犯パトロール用資機材の整備に対して、その経費の一部を助成する。	補助金の交付市町村数	38	市町村への補助金交付を通じて、自主防犯団体の活動の活性化を促した。	38 (のべ)	A
16	Ⅱ-1-④	消費者教育及び啓発の充実	くらし安全推進課	消費生活をめぐる契約上のトラブルの未然防止・拡大防止を図るため、県消費者センターと連携し、消費者の自立を支援する講座等を開催するほか、ホームページや県広報紙等を活用して消費者情報を提供するなど、より効果的な広報啓発を実施し、高齢者等の消費者被害の防止に取り組んでいる。	講座参加者数	350	消費者被害の防止に向けて、各種講座や広報啓発を実施しました。 ・消費者自立支援講座（一般消費者及び高齢者）33名 ・消費生活サポーター養成講座（オンライン）69名	102	E
17	Ⅱ-1-④	相談体制及び悪質事業者の監視指導体制の充実・強化	くらし安全推進課	市町村の相談体制の充実強化に向け、相談員の資質向上を目的とした研修会等を実施している。また、高齢者を狙った悪質な訪問販売等を行う事業者への対策として、警察等と連携し、特定商取引に関する法律等に基づく指導等を行っている。更に、広域で活動する悪質事業者に対しては、「五都県悪質事業者対策会議」を通じて合同指導や処分を行うなど、監視指導を強化している。	研修会参加者数 (延べ)	200	相談体制の充実に向け、研修会を開催し相談員の資質の向上を図りました。また、関係機関と連携し、悪質事業者への監視指導を実施しました。 ・消費生活相談員レベルアップ研修（オンライン41名参加）	41	E

令和3年度千葉県高齢者保健福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に 関する評価
18	II-1-④	交通安全シルバーリーダー研修・ネットワーク事業	くらし安全推進課	地域の指導的役割を担う高齢者が、交通安全に必要な知識・手法を習得できるよう、参加・体験・実践型の高齢者交通安全教室を実施する。 また、研修終了者に、地域において交通安全に関する啓発活動を行っていただけるよう、定期的に情報提供を行う。	参加・体験型高齢者交通安全リーダー研修参加者数	130	新型コロナの関係で講習は実施せず。 年4回の交通安全運動に併せて、過去に講習を受けて登録されているシルバーリーダーに、交通安全に関するチラシやDVDなどの提供を行うなど、自主的な交通安全活動を支援した。	0	E
19	II-1-④	高齢者の交通死亡事故抑止対策の推進	警察本部 交通総務課	高齢者の事故防止のため、老人クラブや自治会等への情報発信や高齢歩行者の反射材の活用を促進するための対策を推進する。	高齢者の交通事故死者数	対前年比で減少	公益財団法人千葉県老人クラブ及び千葉市老人クラブに対し、「高齢者が被害に遭う交通死亡事故が多発！」のチラシの配付依頼を実施	73人 (前年比-1人)	A
20	II-1-④	運転免許自主返納者に対する支援措置の拡充	警察本部 交通総務課	運転に不安を感じている高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を作るため、自治体、企業等に対し運転免許自主返納に関わる支援措置の実施を働き掛ける。	支援措置協賛企業数	対前年比で増加	運転に不安を感じている高齢者が運転免許を自主返納しやすい環境を作るため、県警ホームページに支援措置の協賛企業等募集のチラシを掲載した。	32自治体 3団体 220企業 (令和3年度末)	A
21	II-1-⑤	高齢者虐待防止対策の推進	高齢者福祉課	市町村や地域包括支援センター職員、介護サービス事業所職員等に広く虐待防止の理解を深めるとともに、虐待対応技術の向上を図るための研修会を開催する。 また、高齢者虐待防止ネットワークの未設置市町村に対して、早期設置を働きかける。 さらに、困難事例に対し市町村が迅速かつ適切に対応できるよう、社会福祉士や弁護士等の専門職団体と連携し、専門性を活かした助言等を行う。	研修会参加者数	500	管理職・新任職員向け研修（149名） 現任職員研修（120名） 専門研修（194名） 在宅介護事業所向け研修（477名）	940	A
22	II-1-⑤	高齢者権利擁護・身体拘束廃止の推進	高齢者福祉課	高齢者福祉施設における介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、身体拘束廃止に関する研修を行い、身体拘束廃止を推進する人材を養成する。 また、高齢者福祉施設の要請を受け、専門家等が、身体拘束廃止に向けたケアの工夫等について具体的な助言を行うなど、施設における身体拘束廃止の取組を支援する。	研修受講者数	600	・高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修 255人 ・指導者養成研修 30人 ・看護指導者養成研修 3人	計288人	D
23	II-2-①	在宅医療を実施する医療機関の増加支援	健康福祉政策課	診療所や病院の医師等に対し、在宅医療を実施する動機づけや必要な知識、在宅療養支援診療所の経営等に関する研修を行うとともに、アドバイザーを派遣する。	研修参加者数	120	研修の実施	122	A

令和3年度千葉県高齢者保健福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に関する 評価
24	II-2-①	在宅歯科診療設備の整備	健康づくり支援課	主に高齢期・寝たきり者等に対する在宅歯科診療の普及向上に資するため、在宅歯科診療を実施する医療機関に対し、在宅歯科医療機器等の設備の整備に対する助成を行うことにより、安全で安心な質の高い歯科医療提供体制の充実を図る。	整備診療所数	404	在宅歯科医療に取り組む歯科診療所の増加及び在宅療養支援歯科診療所の増加を図ることができた。	433	A
25	II-2-②	在宅医療・介護連携の推進に取り組む市町村への支援	高齢者福祉課	市町村職員等を対象として、医療と介護の連携に関する相談についての研修等を実施する。	研修会参加者数	100	令和4年2月1日に市町村研修会実施。	82	B
26	II-2-②	薬剤師等の連携強化	薬務課	適切な薬剤管理指導を提供するため、一般社団法人千葉県薬剤師会が主体になり、地域における医療や介護従事者等との円滑な連携の在り方について検討する連携体制調整会議等を開催し、関係機関との連携強化に努める。	連携体制調整会議等の開催数	30回	チーム医療における地域に合った薬剤師の介入事例を県薬剤師会委員会にて2回検討した。	2回	E
27	II-2-③	回復期リハビリテーション病棟等整備事業	医療整備課	病床機能の再編により急性期病床から回復期リハビリテーション病棟等への転換を促進するため、県内の病院が実施する病棟整備に要する費用の一部を補助する。	回復期リハビリテーション病棟等病床数 (人口10万対)	対前年度比で増加	意向調査を実施したが、施設からの要望がなかったため、実績なし。	施設からの要望はなかったが、R2年4月、回復期病棟等病床105.6(10万対)が、R3年4月には109.1(10万対)と増加している。	A
28	II-2-⑤	施設の感染症等の発生予防及びまん延防止対策の普及・啓発	健康福祉政策課	高齢者福祉施設等に対し、感染症等に関する知識の普及・啓発を図り、発生予防とまん延防止に努める。	研修会開催数	1	中止	0	E
29	II-2-⑤	介護支援専門員(ケアマネジャー)の養成	高齢者福祉課	利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員を養成する。	研修会参加者数	300	合格者数470名	459	A

令和3年度千葉県高齢者保健婦福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に 関する 評価
30	II-2-⑤	主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）の養成	高齢者福祉課	介護保険サービス事業者等との連絡調整や他の介護支援専門員への包括的継続的ケアマネジメント支援を行うなど、地域包括ケアの中核的役割を担う主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）を養成する。	研修会参加者数	300	申込者数303名 オンライン・参集研修各1回	265	B
31	II-2-⑥	「働き方改革」の推進	雇用労働課	企業の経営者や労務担当者を対象とするセミナーを開催するとともに、経営・労務管理の両面から企業にアドバイスを行う「働き方改革」アドバイザーを派遣するなど、多様で柔軟な働き方の普及を図る。	セミナーの開催件数	3回	・働き方改革オンラインセミナー：3回 ・テレワーク体験セミナー：1回 ・テレワークオンラインセミナー：2回 ・ちば「働き方改革」公労使オンライン講演会：1回 ・働き方改革アドバイザー派遣：20社（延べ70回） ・テレワークの専門家派遣：20社（延べ71回）	6回	A
32	II-3-①	民間賃貸住宅への入居支援	住宅課	高齢者等が民間賃貸住宅へ円滑に入居できるよう、住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅の登録や居住支援法人の指定を行うほか、住まい探しをサポートする不動産店を登録し、インターネット等で広く情報提供している。 また、地方公共団体、不動産関係団体、居住支援団体で構成する「千葉県すまいづくり協議会居住支援部会」において、高齢者等の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進等について協議を行う。	千葉県あんしん賃貸協力店の登録数	対前年度比で増加	新たに4件登録し（消除1件）、登録情報の提供を行った。	166	A
33	II-3-②	住宅リフォームの促進	住宅課	建築関係団体及び庁内関係課による「ちば安心住宅リフォーム推進協議会」とともに、住宅リフォームに関する情報提供や講習会及び相談会等を実施し、安心してリフォームを行える環境を整備する。	講習会等の開催回数	5	県民向け講習会及び相談会2回、事業者等向け講習会3回開催を開催した。	5	A
34	II-3-②	県営住宅の整備	住宅課	県営住宅では、高齢者等配慮のため、浴室・便所等への手すりの設置や段差解消等のバリアフリー化を図る。	県営住宅のうちバリアフリー化された住戸数	5,148	菊間第一県営住宅、菊間第二県営住宅、大戸県営住宅、長浦県営住宅の160戸において、浴槽及び便所の更新、手すりの設置や段差解消等の住居改善工事を行った。	5,172	A
35	II-3-③	介護老人保健施設の開設支援	高齢者福祉課	介護老人保健施設の開設前の準備経費に助成を行う。	補助件数	対前年度比で増加	1施設	1施設	A
36	II-3-④	鉄道駅バリアフリー設備整備促進	交通計画課	高齢者や障害者をはじめ、誰にでも利用しやすい駅とするため、市町村が行う駅バリアフリー設備の整備補助に要する経費に対して補助を行う。	主要駅のエレベーター等の設置による段差解消割合	96.3%	1駅1基（1市）のエレベーターに対し補助を実施	99.5%	A

令和3年度千葉県高齢者保健婦福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に関する 評価
37	II-4-①	看護師等の未就業者に対する就業促進	医療整備課	離職後、未就業の保健師・助産師・看護師及び准看護師に対し、就職相談や看護技術研修を実施する。また、ナースセンターへの「看護師等の届出制度」を活用して、再就業を促進する。	再就業者数	対前年度比で増加	継続して実施	891	A
38	II-4-①	県立保健医療大学の運営	医療整備課	保健医療に関わる優れた専門的知識及び技術を教育研究し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域社会に貢献し、将来的に保健医療技術専門職（保健師、助産師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士）においてリーダーとなり得る人材を育成し、県内医療機関等に輩出するとともに、研究成果を地域に還元することにより、県民の保健医療の向上を目指す。	県内就業率	65%	継続して実施	67%	A
39	II-4-①	介護福祉士等の修学支援	健康福祉指導課	介護福祉士、社会福祉士の資格取得や福祉・介護分野への就業を促進するために、修学資金や再就職準備金などの貸付を行う。	修学資金等の貸付決定人数	600	県社会福祉協議会にて事業実施。	518人	B
40	II-4-①	介護に関する入門的研修事業	健康福祉指導課	介護未経験者に対し、研修や職場体験、介護事業所へのマッチング支援を実施することにより、介護分野への参入のきっかけを作り、介護業務に多様な人材の参入促進を図る。	研修会参加者数	150	県内10か所で研修を実施した。	116	C
41	II-4-①	期待しています！シニア人材事業	健康福祉指導課	50歳以上の方を対象として、介護職員初任者研修の実施、職場体験の実施、介護事業所とのマッチング支援等を行うことにより、シニア世代の就職支援を実施する。	研修会参加者数	30	県内5か所で研修を実施した。	45人	A
42	II-4-①	福祉人材センターによる介護人材の確保	健康福祉指導課	地域での福祉の仕事に対する理解を深め、新たな福祉人材の育成、潜在的福祉人材の就労機会の提供及びこれらの総合的な啓発・広報事業を行う。 また、福祉人材センターによる介護人材の復職支援を強化するため、有資格者の把握や効果的な復職支援を行うための届出登録制度の周知・広報を強化し、支援を行う。	就職者件数	100	就職フェアや職場体験等、福祉・介護分野への就業促進を図る取組を実施した他、福祉人材センターの利用促進を図るため、リーフレットやホームページ等の見直しを行った。	55人	D
43	II-4-②	医師キャリアアップ・就職支援センター事業	医療整備課	千葉大学医学部附属病院内に設置した医師キャリアアップ・就職支援センターを運営し、研修医等の確保やキャリア形成の支援、医療技術研修等を実施する。	臨床研修病院合同説明会参加者数	1,000	県内病院における臨床研修医確保のため、合同説明会を実施した。	1,846人	A
44	II-4-②	介護老人保健施設職員等の研修	高齢者福祉課	介護老人保健施設の職員を対象に、看護・介護技術やリハビリテーションをはじめとした専門知識を取得するための総合的な研修を実施する。	研修会参加者数	250	県社会福祉協議会にて事業実施。	208	A
45	II-4-③	メンタルヘルスサポート事業	健康福祉指導課	福祉人材センターに相談支援アドバイザーを配置し、介護職員への巡回相談や事業者に対するアドバイスを行う。また、管理者向けの労務研修を実施する。	研修会参加者数	60	アドバイザーによる相談支援を実施した他、職場におけるハラスメント対策等の研修を実施した。	144人	A

令和3年度千葉県高齢者保健婦福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に関する 評価
46	II-4-③	外国人介護人材支援センターの運営	健康福祉指導課	外国人介護職員や介護職を目指す外国人への相談支援のほか、外国人介護職員と留学生との交流会や受入施設に向けた制度説明会、離職防止のための労務研修などを実施する。	研修会参加者数	200	県社会福祉協議会にて事業実施。	208人	A
47	II-5-①	認知症サポーターの養成・活用	高齢者福祉課	認知症に対する正しい理解を深め、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となる認知症サポーターを市町村と連携して養成する。 また、養成したサポーターが地域で具体的な取り組みが行えるように支援をする。	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）※養成講座は県及び市町村で実施したもので、キャラバン・メイト連絡協議会が集計公表した数	540,000	千葉県養成数は、37,406人。 うち県開催養成数は、516人。	565,092人	A
48	II-5-①	企業向け認知症サポーターの養成	高齢者福祉課	認知症の人と関わる機会が多いことが想定される職域をはじめ、小売業や金融機関等において認知症の人を手助けする認知症サポーターの養成講座の開催を促進し、地域で見守る体制を働きかける。	企業向け認知症サポーター養成講座受講者数（累計）※キャラバン・メイト連絡協議会が集計公表した数	90,000	企業や団体に向け認知症サポーター養成講座の啓発チラシを发出	93,314	A
49	II-5-①	チームオレンジの体制整備	高齢者福祉課	認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人等の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組みを構築するため、先進的事例の紹介等を行い設置促進に向け市町村を支援する。	市町村数	10	市町村の先進事例の報告会1回、 ステップアップ指導者養成研修1回、 チーム・オレンジコーディネーター研修1回開催	7	C
50	II-5-①	認知症こどもサポーターの養成	高齢者福祉課	認知症に対する子どもたちの理解を深め、認知症の人やその家族に温かい目を注げるよう、小学生や中学生を対象とした認知症サポーター養成講座の開催を促進するとともに、講師のスキルアップ研修を実施する。	小学校での講座開催 市町村数	50	周知・啓発用リーフレットの送付。 講師役に対する研修を3回実施予定。	35	C
					中学校での講座開催 市町村数	38		16	D
51	II-5-①	キャラバン・メイトの養成	高齢者福祉課	認知症サポーターを養成する講師役であり、認知症の人を地域で支えるリーダーとしての役割も期待されているキャラバン・メイトを養成する。	キャラバン・メイト登録者数（累計） ※キャラバン・メイト連絡協議会が集計公表した数	4,600	キャラバン・メイト養成研修を10月・12月の2回実施	4,647	A
52	II-5-①	認知症メモリーウォーク等の支援	高齢者福祉課	認知症の人やその家族、県民、保健・医療・福祉の従事者等がともに行う認知症メモリーウォーク（街頭パレード）等が県内に広がるよう開催を支援し、認知症の正しい理解の普及啓発を図る。	参加者数	600	木更津市にて開催	77	E
53	II-5-①	認知症カフェの普及	高齢者福祉課	市町村に対し、カフェの運営事例やボランティアの活動事例等を紹介し、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と気軽に集える場となる、認知症カフェの普及を推進する。	市町村数	50	認知症カフェの普及	49	B

令和3年度千葉県高齢者保健福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に関する 評価
54	II-5-①	認知症ケアパスの活用推進	高齢者福祉課	認知症の容態に応じ適切な介護サービス等を提供する認知症ケアパスが有効に機能するよう市町村を支援する。	市町村数	48	認知症ケアパスの支援	53	A
55	II-5-③	認知症サポート医の養成	高齢者福祉課	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言・支援を行うとともに、専門医療機関や市町村等との連携の推進役となる認知症サポート医を、千葉県医師会と連携しながら養成し、認知症の早期発見・早期治療等の医療体制の充実を図る。 また、認知症サポート医による、一般県民向けの認知症理解のための講演会を開催するほか、認知症サポート医のフォローアップ研修も実施する。	養成人数（累計）	550	国立長寿医療研究センターが実施する養成研修を62名が受講。	570	A
56	II-5-③	認知症専門職における多職種協働支援体制の構築	高齢者福祉課	認知症の人やその家族の支援に携わる専門職同士が、お互いの役割や活動内容等を理解することで、多職種が連携を取り協働しやすい環境づくりを進めるための研修を実施する。	研修会参加者数	160	研修会を2回実施	114	C
57	II-5-③	「千葉県オレンジ連携シート」の普及	高齢者福祉課	医療・介護・福祉等の多職種間の情報共有ツールとして、全県共通様式である「オレンジ連携シート」の普及に努め、多職種協働を進める。	使用枚数	1,000	県HPによる周知	947 (令和元年度分)	B
58	II-5-④	病院勤務の医療従事者の認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	病院勤務の医療従事者に対し、認知症の基本知識、医療と介護の連携等について習得するための研修を実施し、病院での認知症の人の対応について適切な実施の確保に努める。	研修会修了者数（累計）	4,200	研修会を8回実施 316名受講	4,127	B
59	II-5-④	かかりつけ医認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	認知症サポート医との連携のもと、高齢者が日頃受診しているかかりつけ医に対し、認知症診断の知識・技術や、認知症の人及びその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施する。	研修会修了者数（累計）	1,300	研修会を3回実施 85名受講	1,315	A
60	II-5-④	歯科医師認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	歯科医師に対し、認知症の基本知識、医療と介護の連携の重要性等を習得するための研修を実施し、認知症の疑いがある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理が適切に行えるよう、認知症の人への支援体制の構築を図る。	研修会修了者数（累計）	1,000	研修会を5回実施。 184名受講	1,116	A
61	II-5-④	薬剤師認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	薬剤師に対し、認知症の基本知識、医療と介護の連携の重要性等を習得するための研修を実施し、認知症の疑いのある人に早期に気づき、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた薬学的管理が適切に行えるよう、認知症の人への支援体制の構築を図る。	研修会修了者数（累計）	1,500	研修会を3回実施。 170名受講	1,595	A

令和3年度千葉県高齢者保健福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に関する 評価
62	II-5-④	看護職員認知症対応力向上の推進	高齢者福祉課	看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得するための研修を実施することで、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達し、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を図る。	研修会修了者数（累計）	440	研修会を2回実施。 94名受講	338	C
63	II-5-④	認知症介護実践研修の実施	健康福祉指導課	高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症介護技術の向上のため実践的研修を行うことにより、認知症介護の専門職員を養成するとともに、研修に携わる指導者の資質向上を図ることで認知症高齢者の介護サービスの充実に努める。	研修の修了者数	400	千葉県高齢者福祉施設協会に委託し、研修事業を行った	228	D
64	II-5-⑥	若年性認知症対策の総合的な推進	高齢者福祉課	発症初期から終末期（高齢期）まで本人の状態に応じた適切な支援が行われるよう、自立支援のためのネットワーク会議を開催する。また、若年性認知症の方の相談先となる産業医、衛生管理者、労働衛生等に携わる方を対象に研修会を開催する。 若年性認知症に関する実態調査の結果を踏まえた施策の充実に努める。	研修会参加者数	160	産業医や労務管理者を対象とした研修1回（47名） 介護従事者や市町村を対象とした研修1回（89名）	136	B
65	II-6-①	地域包括ケアシステムに関する県民への普及啓発	高齢者福祉課	地域包括ケアシステムを県民に周知するため、県のホームページを活用するほか、様々な機会をとらえて情報発信する。	地域包括ケアシステムの認知度	50%	ホームページでの啓発	63%	A
66	II-6-②	地域包括支援センター職員等への研修の実施	高齢者福祉課	地域で暮らす高齢者の自立した生活への支援を促進するため、地域包括支援センター職員に対し、総合相談支援・権利擁護・包括的継続的ケアマネジメント支援・介護予防ケアマネジメント業務に関する研修を行う。 また、高齢者のほか、障害、子ども及び困窮分野などへの対応や、情勢に応じたテーマにより、幅広い相談への対応を学ぶ。	研修会参加者数	320	初任者研修3回（159名） 現任者研修1回（185名） ※オンデマンド形式で実施	344	A
再	II-6-②	在宅医療・介護連携の推進に取り組む市町村への支援	高齢者福祉課	市町村職員等を対象として、医療と介護の連携に関する相談についての研修等を実施する。	研修会参加者数	100	・令和4年2月1日に市町村研修会実施。	78	C
67	II-6-③	介護認定調査員新規研修及び現任研修	高齢者福祉課	新規に認定調査に従事する者及び既に認定調査に従事している者が要介護認定等における公平・公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識、技能の修得及び向上に資する研修を実施する。	①研修会参加者数（新規） ②研修会参加者数（現任）	① 500 ② 1500	新規 市町村へ委託 現任 1回（オンライン）	①329人 ②1,471人	B

令和3年度千葉県高齢者保健福祉計画進捗管理表（目標達成状況）

	掲載箇所	取組	担当課	事業内容	指標	R3年度 目標値	R3年度の 実施結果	R3年度 の状況 (現状値)	R3年度 達成状況に 関する評価
68	II-6-③	介護認定審査会委員新規研修及び現任研修	高齢者福祉課	新規に介護認定審査会委員に就任する者及び既に介護認定審査会委員に就任している者が要介護認定等における公平・公正かつ適切な審査判定を実施するために必要な知識、技能の修得及び向上に資する研修を実施する。	①研修会参加者数 (新規) ②研修会参加者数 (現任)	① 250 ② 750	新規 市町村へ委託 現任 1回（オンライン）	①120人 ②1,029人	B
69	II-6-③	主治医研修	高齢者福祉課	要介護認定等に係る審査判定に必要な資料である主治医意見書の記載がより適切に行われるよう、医師を対象とした研修を実施する。	研修会参加者数	200	千葉県医師会委託	161人	B
70	II-6-③	介護認定審査会運営適正化研修	高齢者福祉課	介護認定審査会の適正な運営を図るために必要な知識、技能の修得並びに審査判定手順等の適正化及び平準化に資する研修を市町村職員等を対象に実施する。	研修会参加者数	100	研修の実施（1回）	81人	B
再	II-6-③	介護支援専門員 (ケアマネジャー)の養成	高齢者福祉課	利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員を養成する。	研修会参加者数	300	合格者数470名	301	A
再	II-6-③	主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）の養成	高齢者福祉課	介護保険サービス事業者等との連絡調整や他の介護支援専門員への包括的継続的ケアマネジメント支援を行う等、地域包括ケアの中核的役割を担う主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）を養成する。	研修会参加者数	300	申込者数303名 オンライン・参集研修各1回	265	B